

令和5年度 第4回学校運営協議会

日時：令和6年2月21日（水）

10：00～11：30

出席者 A委員：学識経験者
C委員：企業関係者
E委員：医療関係者
G委員：本校校長
B委員：公民館代表
D委員：福祉関係者
F委員：元PTA代表

オブザーバー参加：副校長2名、事務長、総括教務主任、各学部寄宿舍代表4名 計15名

1	開会
2	校長挨拶
3	日程説明（沼崎副校長）
4	諸報告 教育活動の経過報告（沼崎副校長） 学校評価の結果と今後の学校運営について（菅原副校長、石川校長）
5	協議（熟議） 「気仙光陵支援学校の魅力を伝えたい」リーフレット配付状況
6	委員の皆様から 学校に対するご提言、ご要望、本日の感想等
7	諸連絡（沼崎副校長） 来年度の学校運営協議会について （令和6年5月ごろ第1回学校運営協議会予定）
8	閉会

1. 開会

2. 校長挨拶（要約）

本日はありがとうございます。第4回学校運営協議会を開催させていただきます。最近の本校の教育活動についてお知らせいたします。新年早々に大谷選手からグローブが届きました。小学部への寄贈でしたが、中学部高等部の生徒にも使ってもらいたいと思っています。

1月22日には、思いがけず世界的ヴァイオリニストのコンサートを本校で開催することができました。素敵なバイオリンの音色、ピアノ演奏を披露してくださいました。演奏者の方々が真剣に聞き入る本校の児童生徒に感動していました。

2月には校外製品販売会が行われ、生徒の製品を多くの方に見ていただき、購入していただきました、生徒のにとって大きな励みとなりました。

リーフレットを完成させることができました。評議員の皆様のご協力なくして完成させることができませんでした。本当にありがとうございました。

本日も熟議をどうぞよろしく申し上げます。

3. 日程説明

4. 諸報告

別紙資料により説明。

5. 熟議 <議事進行 会長A委員>

「気仙光陵支援学校の魅力を伝えたい」リーフレットを見ながら意見交換

A委員：リーフレットの企業からの声はどのように確認したのか。

副校長：進路指導主事が各企業を訪問し、担当者と確認させていただいた。

F委員：福祉事業所関係には配っているのか。配布が教育以外にあってもよいのではないか

副校長：福祉事業所は、まだ配布を行っていない。

F委員：保護者にとっては、教育、福祉といったくくりでは考えていない。相談先にリーフレットがあった方がよい。相談、支援の手助けになる。

副校長：配布できる場所は、年度内に配布していきたい。

A委員：すでに配布済みのところからは、何かご意見等はあったのか。

副校長：部数がもっと欲しいなどの、意見をいただいた。

校長：県の監査委員からもリーフレット分かりやすいと講評をいただいた。

支援学校については大まかに知っていても、進路などについて就業継続支援A型、B型の違いや、支援学校の知的障害、肢体不自由など種類があることなど、細かい部分について知られていないことが多く、配布先から質問されることがあった。

リーフレットを見て、様々なところから支援学校に関する話が広がっていくと思った。支援学校に対して、どこから質問してよいかわからなかったところが、リーフレットがあることで、質問がしやすかったり、話のきっかけになってたりすると思った。

A委員：前職で支援学校について説明する機会があっても、具体的に支援学校が何をしているのか、適切に伝えることができなかった。これが良いツールになればと思う。

いいリーフレットができたと思っています。

F委員：気仙地区以外の教育委員会にも配布しますでしょうか。

副校長：在学生の出身地域の教育委員会には配布を検討していきたい。

D委員：PDFの資料にして、学校のHPに掲載し、ダウンロード可能にする予定はあるか、手に取りやすいようにしてはどうか。

校長：県との調整、相談が必要になる。検討を重ねていきたい。

D委員：配布先として、行政機関の子育て支援課などに配布がよいのではないか。

副校長：検討をしていきたい。

4. 諸報告にもどり

学校評価資料により説明

校長より学校評価に自由記述について詳細説明。

D委員：子どもの権利が強化される、教育も障がい児福祉支援も、来年度以降大きな転換期となる。

学校運営評議員も法律が変わるなどのトピックに対して、見方を変えていかなければならない。

来年度の熟議のテーマや勉強会を開いていけたらと思う。

A委員：学校評価が前年度より、調査回収方法が変わったということだが、保護者の評価が若干下がっているのが見られるが、どのように分析しているか。

校長：学校としての保護者への説明不足部分があったと思っている。

保護者と学校のねらいのすり合わせを今後も継続して丁寧に説明し、指導支援をすすめていく必要がある。

E委員：調査方法を変更したということであるが、今回の調査の数値が実態に即しているように感じる。

D委員：今回の調査方法に慣れていく必要がある。今後もこの方法で実施していくのがよい、紙面での調査でないことで匿名性があがるのがよい。

6. 委員の皆様から

学校に対するご提言、ご要望、本日の感想等

C委員：障がい者雇用に関わって、企業として研修等を実施し、受け入れについてすすめている。

F委員：もう少し、保護者同士や教職員と話ができるような機会を設けていただきたいと思う。

P T Aの活動を増やしていただければと思います。

校長より

昨年度、本校の魅力について伝えていきたいということで、グループワークをしてからちょうど一年経ちました。あの時、皆さんが、学校を色々と思ってくださることに、感激したことが思い出されます。皆さんのご意見をいただきながら、ここまでまとめることができました。本当に感謝しております。

次年度も様々、課題に対して対応検討していきますので、ご協力を継続してお願いしたいと思っています。よろしくお願いたします。

7. 諸連絡

8. 閉会